

波高通信



<第131号 令和7年8月>

スローガン「チーム波佐見」～希望への挑戦～

美工科「鑑賞研究発表会」7/11(金)

本校の美工科は、常に挑戦し続けています。今回は、生徒それぞれが設定したテーマをもとに探究し、その成果を発表する会を金探の7月11日（金）に実施しました。生徒たちの発想力と個性が爆発した発表会でした。

以下は、発表テーマの一部です。

「キャラクターデザインにおける“アホ毛”の歴史と視覚的効果」

「絵本作家・やなせたかしがキャラクターを生み出すようになったきっかけ」

『名探偵コナン』が多くの人に愛される理由を探る」

「画家クリスチャン・ラッセンの評価：日本と世界での違いを探る」

「コム・デ・ギャルソンのファッションに見る“美しさ”の再定義」

「建築家フィリッポ・ブルネレスキの透視図法とルネサンス建築の革新」



第107回全国高校野球選手権 長崎大会

ベスト8

2回戦 : 対 鎮西学院 5対1

3回戦 : 対 佐世保高専 9対2

準々決勝 : 対 創成館 2対3

終盤まで互角！接戦に持ち込む！

第6シードの本校は、第3シード創成館と準々決勝で対戦しました。

初回に2点を先行されましたが、創成館の打線を抑え込んで5回、6回に1点ずつ奪い、同点に追いつきました。しかし、8回に1点をとられ、惜敗しました。

ただひたすらに「勝利」を目指して練習に励んできた野球部、OBや波佐見町の方等多くの方からの応援。試合も応援も全力で戦った「チーム波佐見」でした。



東京造形大・武蔵野美術大説明会 7/24、26

美術・工芸科の生徒を対象に、東京造形大学と武蔵野美術大学の説明会が行われました。羊毛フェルトを用いたデザインワークショップや作品講評会などが行われ、専門的な見地からのご指導を受け、生徒たちは大いに刺激を受けました。



ALTのCJ先生

ALTのキャメロン・ジェームス・ミラー先生（CJ先生）が、波佐見高校に着任されて一年が経ちました。「こちらこそ」「とんでもない」という日本語を使いこなし、謙虚でチームワークを重んじるCJ先生。すっかり波佐見に馴染んでいらっしゃいます。

英語の授業でやりがいを感じるのは、生徒が理解できたときに表情が明るくなり、心から喜んでくれた時。

工夫していることは、美工科の生徒には、例えば「東京タワー」の説明を英語で行い、生徒は推測して絵に表現してもらうなど、クラスの特長にあった教材研究をしていることです。

アメリカの砂漠の風景は「茶色」だけだったけど、波佐見は「緑」。目にする山々が緑色で、毎朝、美しいと感じます。緑も素敵だし、波佐見の人は優しいし、波佐見に来てよかったです。

よく波佐見の猫カフェに行きますよ。波佐見のラーメンも大好き。



学校で一番好きな場所にて
(山と空、野球部の練習が見えるパワースポット)

オープンスクール 7/5(土)

7月5日（土）、オープンスクールを開催しました。生徒会執行部が、本校受検を決めた理由や時期、インターンシップや生徒会活動、部活動での充実した学校生活について説明をしました。陶芸体験もおこないました。中学生からのアンケートでは「よくわかった」「高校生活が充実しそそう」などの感想をいただきました。

今年度の本校の柱は、「金探」「HTB連携」「探究型インターンシップ」の3つです！

中学生のみなさんはもちろん、地域の方にも、生徒一人一人が輝く波佐見高校に期待していただきたいです！



それぞれ

”ホント”の自分を探して

希望へ挑戦し続ける



8月の主な行事

9日（土）平和学習
10日（日）～17日（日）学校閉庁日
24日（日）オープンスクール・アゲイン

28日（木）始業式
29日（金）HTB研修（3年）